

高齢者の権利擁護に関する調査結果について

【調査目的】

各市町村における高齢者の権利擁護に関する業務の実態を把握し、今後の取組における支援の参考とすることを目的とする。

【調査項目】

- ・高齢者虐待防止について
- ・成年後見制度について
- ・市民後見人養成について
- ・地域における高齢者見守り活動について

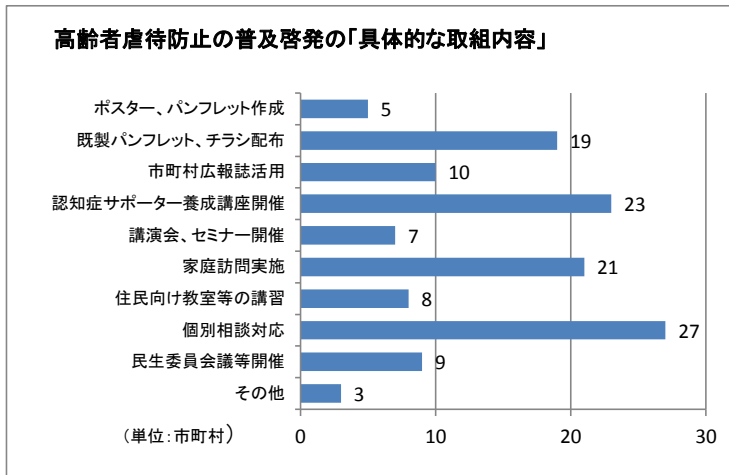
【調査時期】

平成26年6月

高齢者の権利擁護に関する調査結果について（概要）

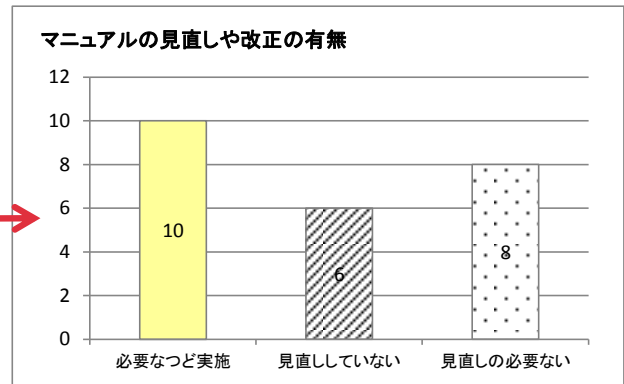
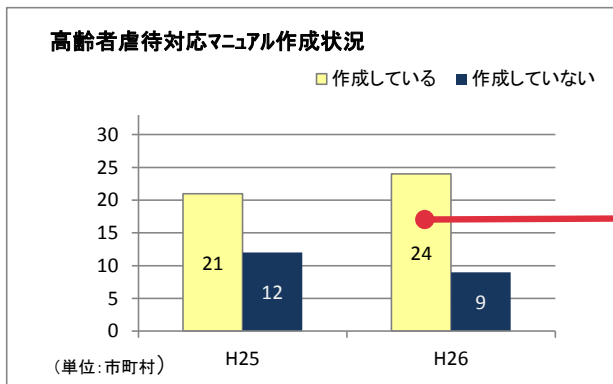
1 高齢者虐待防止業務について

高齢者虐待防止についての普及啓発を実施しているのはすべての市町村であり、その取組内容としては個別相談対応が最も多い。



平成25年度の普及啓発実施は24市町村であり、ポスター・パンフレットの作成、市町村広報誌の活用が多かった。

高齢者虐待対応マニュアルを策定しているのは24市町村であり、そのうち10市町村が「必要な都度見直しを行い改正している」と回答。



高齢者虐待対応マニュアルを策定していない理由
※策定していないと回答した9市町村の回答

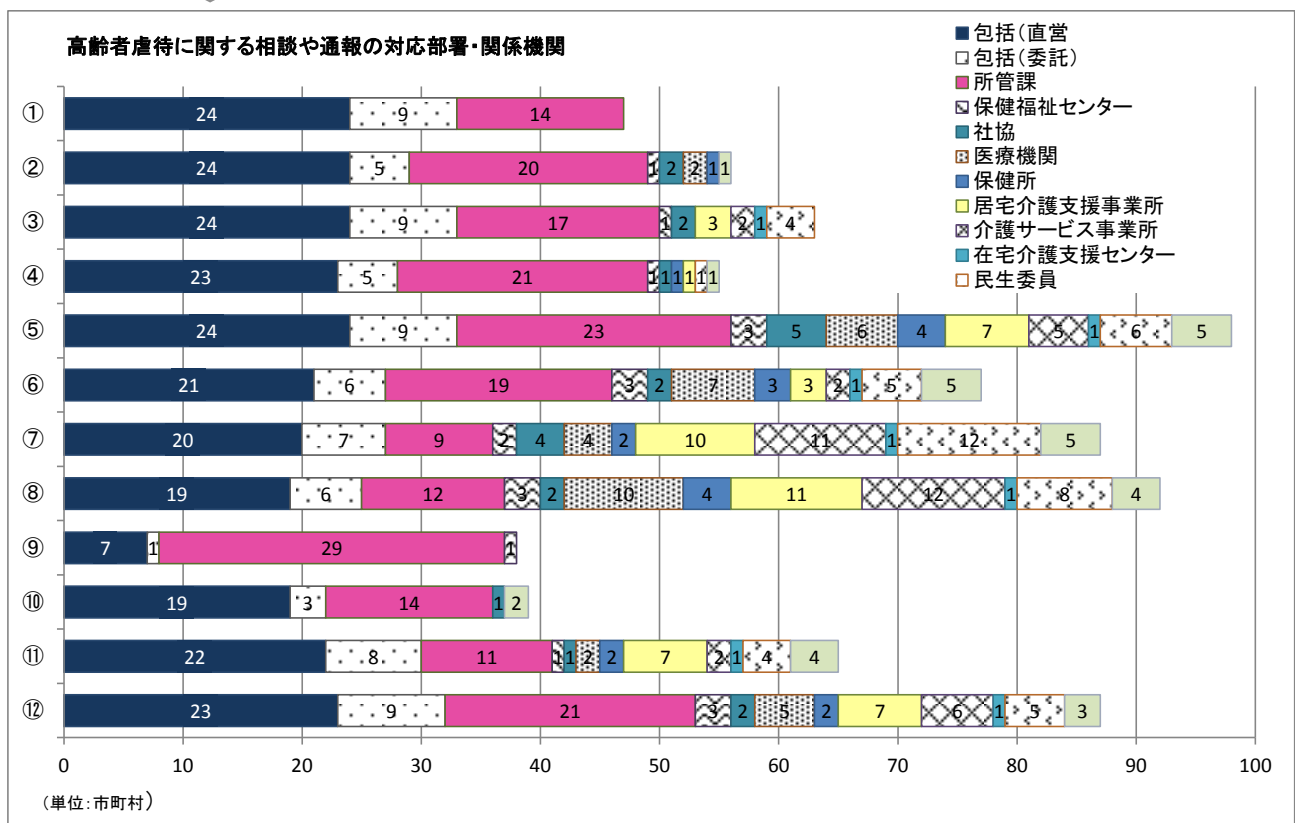
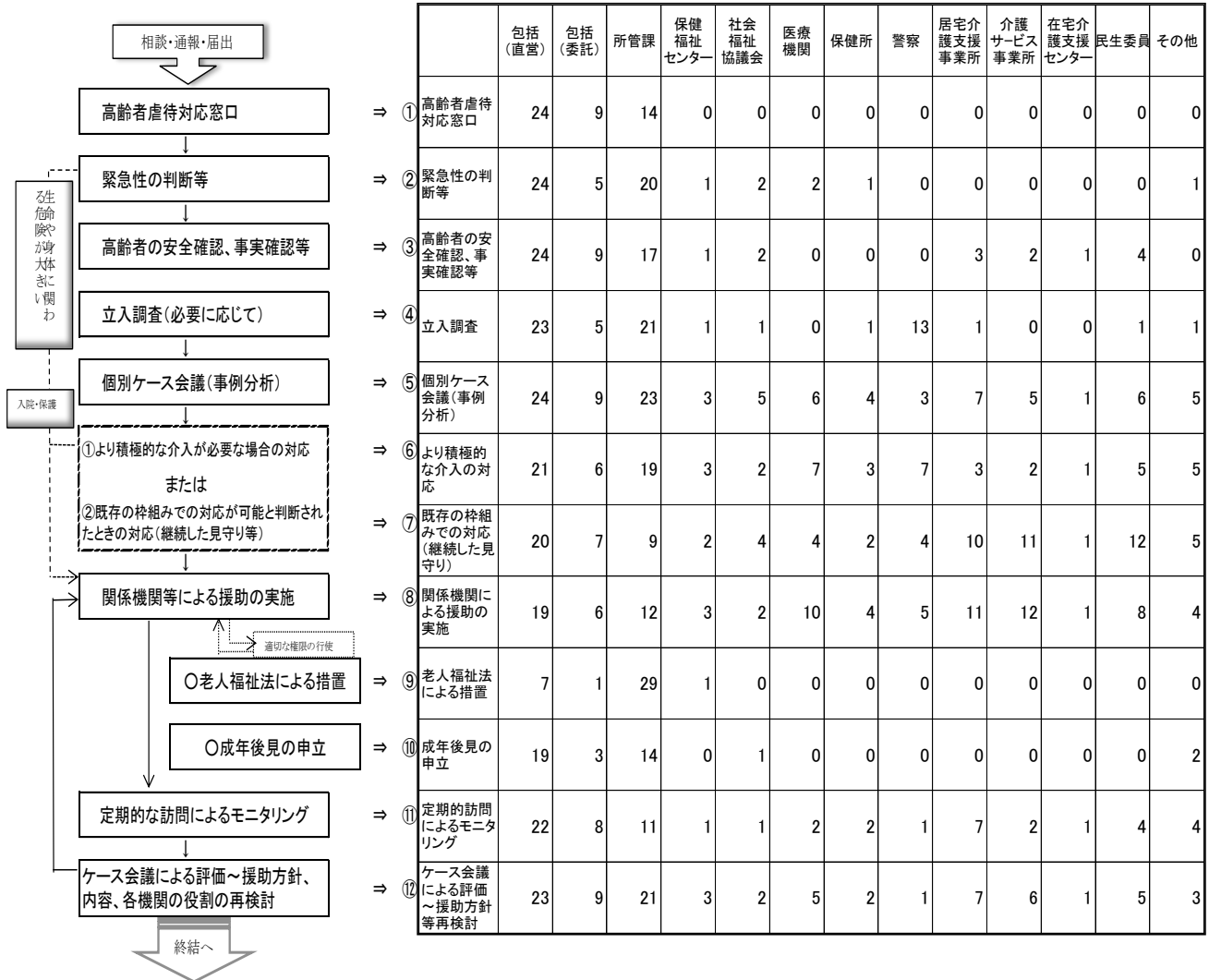
- ・虐待の事案が少ない
- ・厚生労働省等のマニュアルを参考になっている

高齢者虐待対応マニュアルを見直ししていない理由
※見直ししていないと回答した6市町村の回答

- ・改正方法が明確でない
- ・時間の確保が困難
- ・法的な整備が不十分であるため

■高齢者虐待に関する相談や通報の対応部署・関係機関

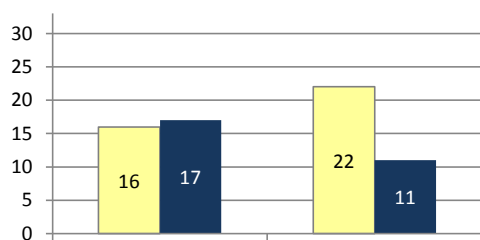
虐待に関する相談・通報の対応部署や関係する機関については、⑤個別ケース会議（事例分析）が関係機関との関わりが最も多いが、関係機関との関わり方は市町村により様々である。



早期発見・見守りネットワーク構築に取り組んでいるのは22市町村、保健医療福祉介入ネットワーク構築に取り組んでいるのは18市町村、関係専門機関介入ネットワーク構築に取り組んでいるのは12市町村であり、いずれにおいても昨年度より取り組んでいる市町村が増えている。

早期発見・見守りネットワーク構築の取組状況

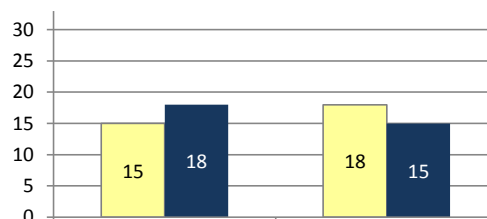
■取り組んでいる ■取り組んでいない



(単位:市町村)

保健医療福祉サービス介入ネットワーク構築への取組状況

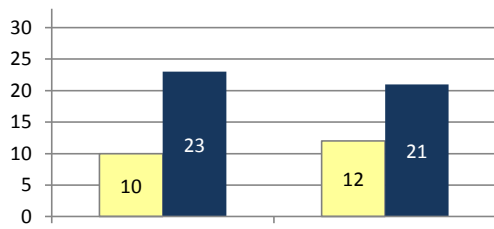
■取り組んでいる ■取り組んでいない



(単位:市町村)

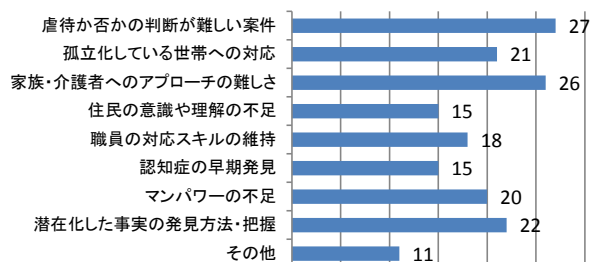
関係専門機関介入支援ネットワーク構築への取組状況

■取り組んでいる ■取り組んでいない



(単位:市町村)

高齢者虐待防止を推進するうえでの問題点・課題



(単位:市町村)

高齢者虐待防止ネットワーク構築の取組みをしていない理由について

- ・同様の機能を担う他の体制があるため
- ・人員の不足

＜早期発見・見守りネットワーク構築への取組みをしていない理由＞

- ・民生委員のネットワークを活用
- ・関係機関との連携困難

＜保健医療福祉サービス介入ネットワーク構築への取組みをしていない理由＞

- ・構築を検討中
- ・医療機関との連携不足

＜関係専門機関介入支援ネットワークを構築への取組みをしていない理由＞

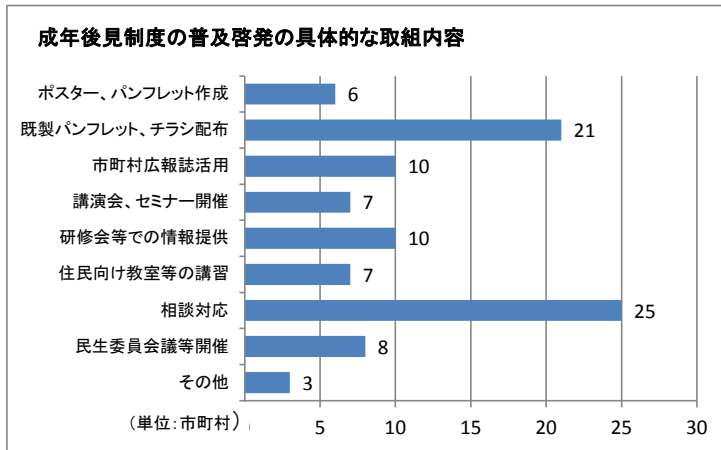
- ・構築を検討中
- ・法律関係者への協力の働きかけが難しい など

＜高齢者虐待防止を推進するうえでの問題点・課題 その他の回答＞

- ・老人福祉法による措置に必要な居室の確保
- ・親（高齢者）の年金に依存する親子世帯が多くなっていると感じる
- ・高齢者虐待防止ネットワークの構築及び関係機関等との連携強化
- ・知的障害や精神疾患がある介護者への対応等
- ・家族介護力の低い世帯（高齢の親と独身の子の世帯など）への支援が課題
- ・特に男性介護者の介護知識等の不足が介護ストレスに繋がり、虐待を招く原因にもなっている
- ・認知症について正しく認識していただくための啓発活動
- ・認知症に対する対応方法を十分に理解していても、実際に介護者自身が常に実践していくことは難しい
- ・認知症の正しい知識の普及や、認知症の方や介護する家族が介護サービスを利用することへの偏見を解消していくこと

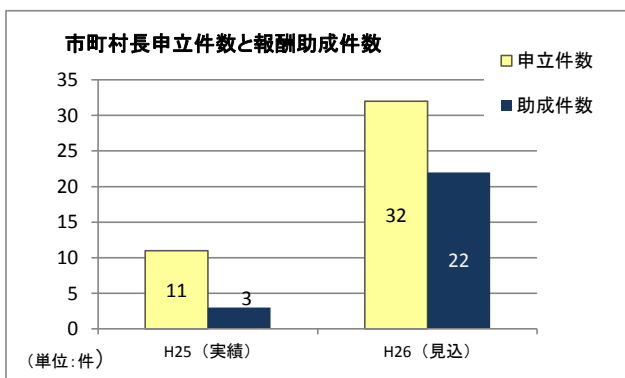
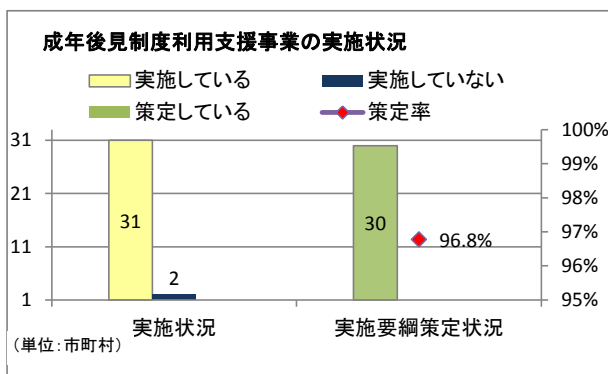
2 成年後見制度について

成年後見制度についての普及啓発を実施しているのはすべての市町村であり、その取組内容として相談対応が最も多い。



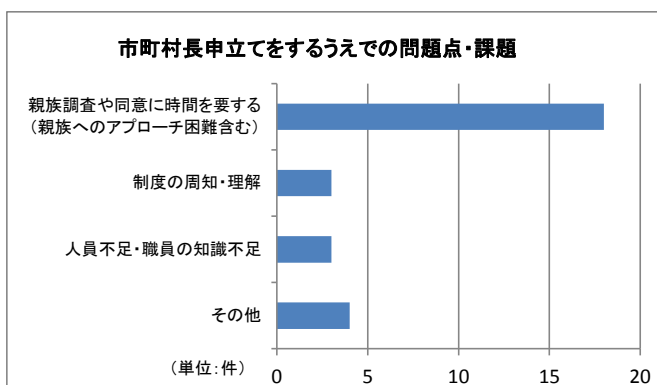
平成25年度の普及啓発実施は25市町村であり、ポスター・パンフレットの作成、市町村広報誌の活用が多かった。

地域支援事業における成年後見制度利用支援事業を実施しているのは31市町村であり、そのうち実施要綱を策定しているのは30市町村である。成年後見制度利用支援事業の実施内容は、申立て費用負担や報酬助成が多く、平成25年度は7市町村が市町村長申立てを実施しており、平成26年度は21市町村が市町村長申立てを実施する見込みである。



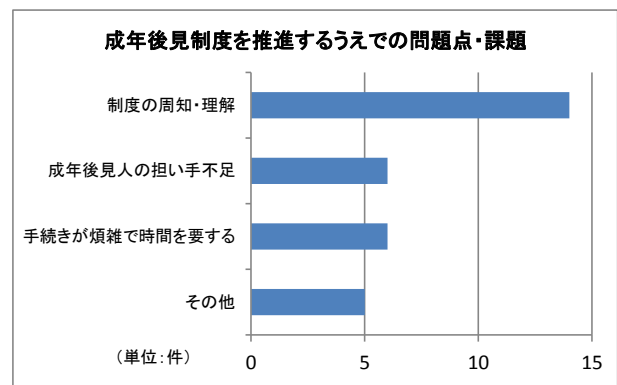
H25実績内訳

申立て件数	申立て費用額	報酬助成件数	報酬助成額
盛岡市 4	265,905円	花巻市 1	554,000円
宮古市 2		滝沢市 2	
遠野市 1			
滝沢市 1			
大槌町 1			
久慈市 1			
洋野町 1			



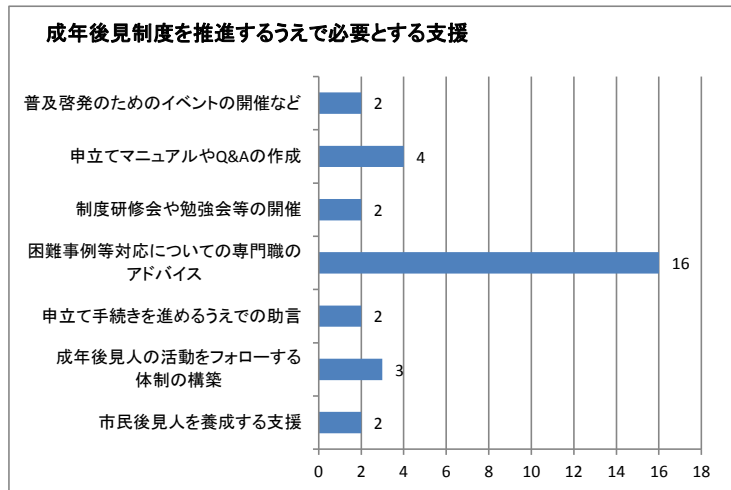
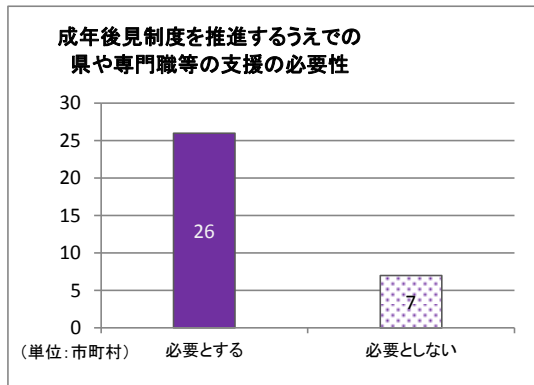
<申立てをするうえでの問題点・課題その他>

- ・親族が申立てを拒否または非協力的
- ・低所得者（年金受給者等）への支援体制



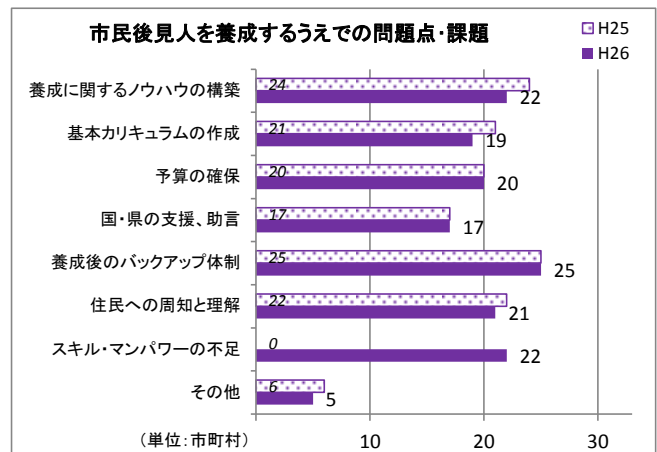
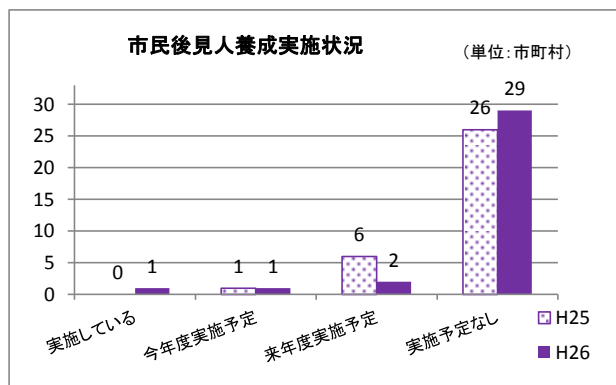
<後見制度を推進するうえでの問題点・課題その他>

- ・人員不足・職員の知識不足
- ・報酬助成の予算確保
- ・後見人では対応できないことがある（医療行為に関する同意や死亡後の身元引受など）
- ・日常生活自立支援事業の利用により成年後見制度の利用に至らない（必要性がまだないという認識）



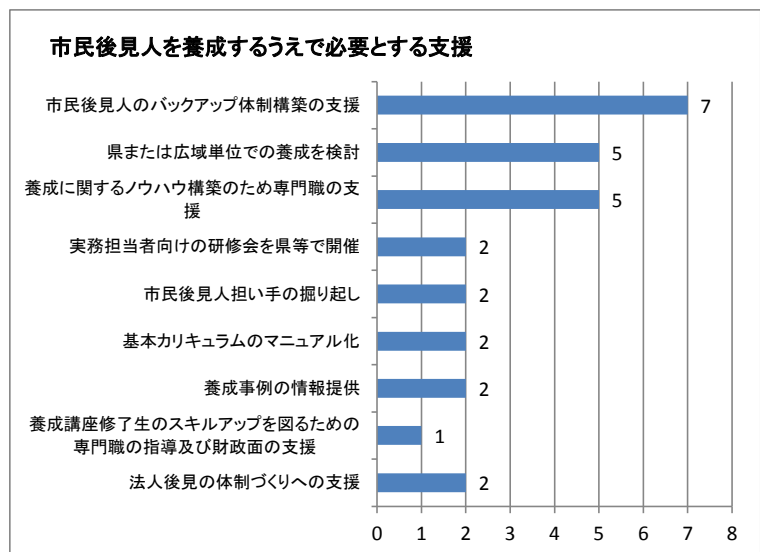
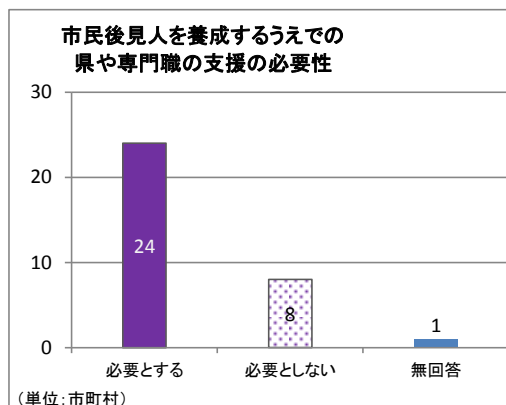
3 市民後見人養成について

市民後見人養成実施状況について、実施しているのは西和賀町、今年度実施予定は盛岡市、来年度実施予定は奥州市及び一戸町、実施予定なしは29市町村である。



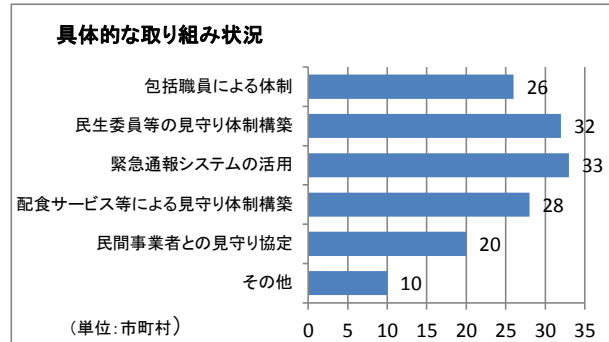
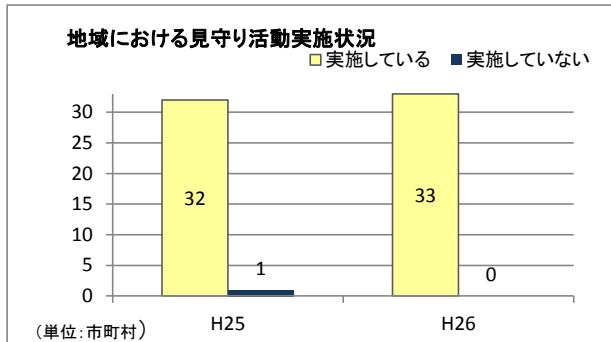
<市民後見人を養成するうえでの問題点・課題 その他>

- ・市民後見人に対する地域のニーズを把握していない
- ・養成の必要性を感じていない
- ・養成する委託先の選定方法



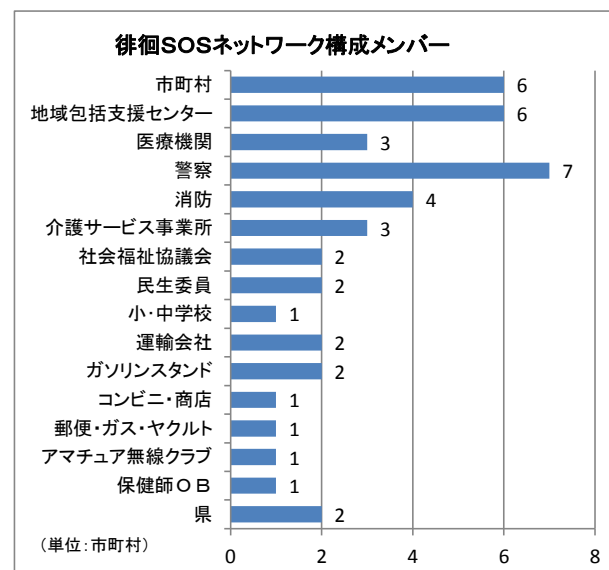
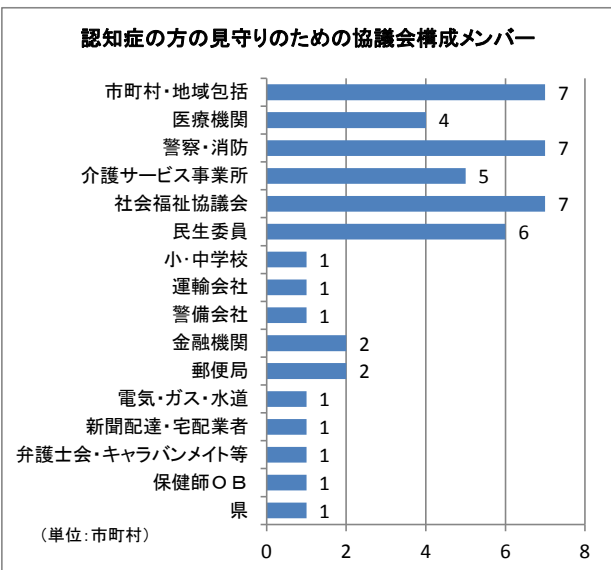
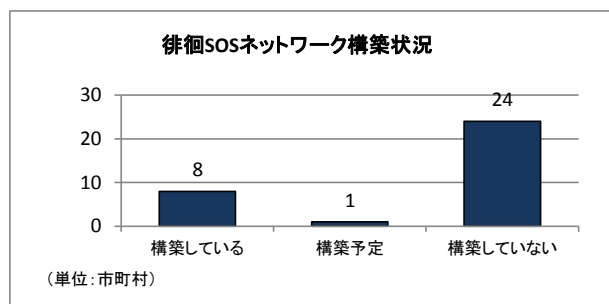
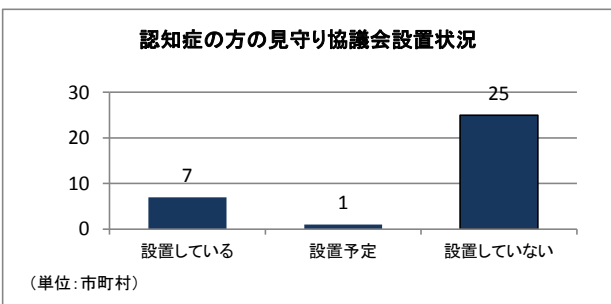
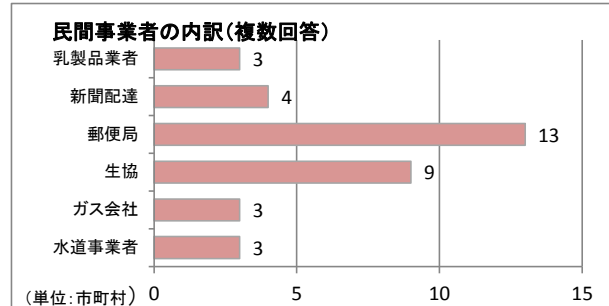
4 地域における高齢者見守り活動について

地域における高齢者見守り活動は、すべての市町村で実施しており、その取組内容としては緊急通報システムの活用が最も多い。



＜地域における見守り活動の取組み その他＞

- ・啓発パンフレットの作成・配付
- ・認知症高齢者等SOSネットワーク
- ・地域コミュニティでの見守り活動
- ・シルバーサポーターの設置



＜協議会設置に関する問題点・課題＞

- ・必要性も含めて検討が必要
- ・高齢化、過疎化により見守る側の減少、見守られる側の増加
- ・関係機関との連携
- ・認知症高齢者の正確な実態把握が難しい
- ・協議会設置の必要性が低い
- ・主体をどこにするか など
- ・問題点ではないが、地域ケア会議の活用

＜徘徊SOSネットワークの構築に関する問題点・課題＞

- ・構築に向けた取組みが出来ていない
- ・個人情報保護の観点から構築には検討を要する
- ・同様のネットワークシステムはあるが十分に活用されておらず、より効果的な運用の検討が必要
- ・警察署において同様の取組みをしており、必要に応じ連携
- ・既存の見守り体制等において対応

高齢者の権利擁護に関する調査結果に対する取組支援について

1 高齢者虐待防止について

＜各市町村における問題点・課題＞

- ・虐待か否かの判断が困難
- ・家族・介護者へのアプローチの難しさ
- ・住民の意識や理解の不足
- ・職員の対応スキルの維持
- ・認知症の早期発見
- ・マンパワー不足
- ・潜在化した事実の発見方法・把握
- ・老人福祉法による措置に必要な居室の確保
- ・高齢者虐待防止ネットワークの構築及び関係機関との連携強化 など

○高齢者虐待防止について【県・県高齢者総合支援センター・関係機関・専門職】

- ・高齢者虐待防止法に基づく市町村への支援
- ・高齢者虐待防止のためのネットワークづくり
岩手県高齢者権利擁護ネットワーク会議における協議等
- ・関係機関等との連携体制の構築への支援
- ・権利擁護関係の研修等の実施（資質の向上）
地域包括支援センター職員研修（初任者研修、現任者研修）
岩手県高齢者総合支援センター権利擁護地域研修会
- ・岩手県高齢者総合支援センター虐待事例集の活用

2 成年後見制度について

＜各市町村における問題点・課題＞

- ・成年後見制度の周知、理解が不足
- ・成年後見制度市町村長申立てにかかる業務負担（親族調査、親族との連絡調整）
- ・申立て等にかかる費用負担
- ・成年後見人の担い手不足
- ・成年後見人の活動に対するフォロー
- ・職員の知識不足
- ・日常生活自立支援事業の利用者で成年後見制度利用が必要な方の移行

○成年後見制度【県・専門職】

- ・岩手県高齢者総合支援センター権利擁護相談や専門相談の周知
- ・地域支援事業（成年後見制度利用支援事業）への助言
- ・県民向けに県主催の成年後見制度普及啓発のイベント実施の検討
- ・申立てマニュアルやQ&A作成の検討
- ・専門的なノウハウ指導等の支援
- ・後見人をバックアップする体制構築の支援
- ・日常生活自立支援事業の利用者で成年後見制度利用が必要な方の移行支援 など

3 市民後見人養成について

＜各市町村における問題点・課題＞

- ・住民の理解、意欲の不足
- ・市民後見人養成後のバックアップ体制の構築
- ・市民後見人養成に対するノウハウ

○市民後見人養成【県・各社会福祉協議会・家庭裁判所・関係機関】

- ・市民後見人推進事業について市町村への周知
- ・市民後見人養成にかかる事例等の情報提供
- ・市民後見人のバックアップ体制構築への支援の検討
- ・県における広域での取組みの検討
- ・養成講座修了生のスキルアップを図るための専門職の指導支援 など

4 地域における高齢者見守り活動（SOS徘徊ネットワーク構築など）について

＜各市町村における問題点・課題＞

- ・個人情報保護の観点からネットワーク構築には検討を要する
- ・構築に向けた取組みが出来ていない
- ・関係機関との連携

○高齢者見守り活動【県・市町村・民生委員】

- ・構築等の取組み事例の情報共有
- ・地域支援事業（認知症高齢者見守り事業等）の周知 など

市町村名	1 高齢者虐待防止業務について																										
	⑪定期的な訪問によるモニタリング													⑫ケース会議による評価～援助方針、内容、各機関の役割の再検討													
	包括（直営）	包括（委託）	各市町村の所管課	保健福祉センター	社会福祉協議会	医療機関	保健所	警察	居宅介護支援事業所	介護サービス事業所	在宅介護支援センター	民生委員	その他	包括（直営）	包括（委託）	各市町村の所管課	保健福祉センター	社会福祉協議会	医療機関	保健所	警察	居宅介護支援事業所	介護サービス事業所	在宅介護支援センター	民生委員	その他	
	22	8	11	1	1	2	2	1	7	2	1	4	4	23	9	21	3	2	5	2	1	7	6	1	5	3	
盛岡市		○													○	○											
宮古市	○												ケースに応じた関係機関	○		○										ケースに応じた関係機関	
大船渡市	○								○					○		○						○	○		○		
花巻市		○	○												○	○											
北上市		○	○												○	○											
久慈市	○													○													
遠野市	○													○		○											
一関市	○	○	○	○		○	○					○	区長	○	○	○	○		○	○					○	区長	
陸前高田市	○		○											○		○											
釜石市	○		○			○	○	○	○	○	○	○		○		○			○	○	○	○	○	○	○		
二戸市		○													○	○											
八幡平市	○													○													
奥州市	○		○										○	○		○										○	
滝沢市	○													○													
雫石町	○													○													
葛巻町	○													○													
岩手町	○				○				○			○		○				○	○			○	○		○		
紫波町	○		○											○		○											
矢巾町		○	○												○	○											
西和賀町																											
金ヶ崎町	○													○			○					○			○		
平泉町									○			○			○	○											
住田町										○			担当ケアマネ	○													
大槌町	○								○					○								○	○				
山田町	○													○		○											
岩泉町	○													○		○											
田野畑村	○								○					○					○			○	○				
普代村		○													○	○	○	○	○			○	○				
軽米町	○		○											○		○											
野田村		○	○												○	○											
九戸村			○													○											
洋野町	○													○													
一戸町	○								○					○		○											

市町村名	1 高齢者虐待防止業務について														
	(4) 高齢者虐待防止ネットワークの構築について														
	ア早期発見・見守りネットワーク					イ保健医療福祉サービス介入ネットワーク					ウ関係専門機関介入支援ネットワーク				
	①構築への取組		②取り組んでいない理由			①構築への取組		②取り組んでいない理由			①構築への取組		②取り組んでいない理由		
	取り組んでいる	取り組んでいない	他同様の制機が能ある担う	その他	具体的な内容	取り組んでいる	取り組んでいない	他同様の制機が能ある担う	その他	具体的な内容	取り組んでいる	取り組んでいない	他同様の制機が能ある担う	その他	具体的な内容
	22	11	5	6		18	15	7	7		12	21	6	17	
盛岡市	○						○				○			○	体制が整っていない
宮古市	○					○					○				
大船渡市	○					○						○		○	独自のマニュアルを作成しておらず、対応方法が明確となっていない中で、関係機関への協力依頼をしかねている。
花巻市		○		○	現状、民生委員活動として見守りが日常的に取り組まれており、地域によって住民による見守り意識が高いものと思うが、連携を強化について検討したいと思う。		○		○	介護保険事業所に対し、虐待対応マニュアルの配布、説明を行っている。また市内居宅介護支援事業所を集め研修会を開催している。		○		○	他の行政機関（県保健所、市保健部局）との連携を望み、ケース検討会議を開いたことがあるが、うまく協力関係を築けなかったことがあり検討が進まない。
北上市		○		○	市内4か所にある地域包括支援センター及び民生委員から情報を得ている。		○		○	介護保険事業所等との連携により、虐待が確認されれば市に連絡がくるため、特別にネットワーク体制として取り組んでいない。		○		○	必要に応じ、専門機関に相談をしている。
久慈市		○		○	民生委員児童委員協議会等のネットワークを活用している。取組については今後検討予定。		○		○	介護支援専門員連絡会において周知を行っている。取り組みについては今後検討予定。		○		○	医療連携推進会議等により情報共有している。取り組みについては今後検討予定。
遠野市	○					○					○				
一関市	○					○						○		○	医療と介護の連携連絡会を設置しているが、法律関係者とのネットワーク構築には至っていない。
陸前高田市	○					○					○				
釜石市	○						○	○				○	○		
二戸市	○					○						○		○	必要時警察等と連携を図り、ネットワークの構築はおこなっていなかった。
八幡平市	○					○						○		○	医療機関とは「保健医療福祉サービス介入ネットワーク」で連携を図っている。法律関係者への相談は、高齢者総合支援センターの権利擁護相談等を利用している。
奥州市	○					○						○	○	○	一部の関係機関（警察や医療機関）とはネットワーク体制ができているが、法的な関係機関については未整備である。
滝沢市	○					○					○				
幸石町	○					○					○				
葛巻町		○		○	職員数の不足		○		○	職員数の不足		○		○	職員数の不足
岩手町		○	○				○	○				○		○	法律関係者へのアプローチ方法がわからない。どのように巻き込んでいけばいいのか。
紫波町		○	○				○	○				○		○	法律関係者への協力の働きかけが難しい
矢巾町		○	○				○	○				○	○		
西和賀町		○		○	区長、民生委員、サ-ター、親族等の共通認識がもてないため連携が難しい		○		○	医療機関との連携不足		○		○	関係機関との連携不足及びマンパワー不足
金ヶ崎町	○						○	○				○		○	自治体が小規模で法律関係機関が無く単独での構築は困難
平泉町		○		○			○		○			○		○	
住田町	○					○					○				
大槌町	○					○					○				
山田町	○					○					○				
岩泉町	○					○					○				
田野畑村	○						○		○	状況に応じメンバーを選定し、対応している。		○		○	状況に応じメンバーを選定し、対応している。
普代村	○					○						○		○	法律関係者とのネットワークがない。
軽米町	○					○					○				
野田村		○	○				○	○				○	○		
九戸村		○	○				○	○				○	○		
洋野町	○					○						○	○		
一戸町	○					○					○				

1 高齢者虐待防止業務について											2 成年後見制度について																		
市町村名	(5) 高齢者虐待防止を推進するうえでの問題点・課題										(1) 成年後見制度の普及啓発の具体的な取組内容																		
	虐待 事件が 否かの 判断が 難しい	応 が立 化し てい る世 帯への 対	子 家 が族 ・介 護 者 への ア プ ロ ー	住 民の 意識 や理 解の 不足	困 難 員 の 対 応 ス キ ル の 維持 が	認 知 症 の 早 期 発 見 が 課題	マン パ ワー が 不足	法 潜 在 化 し た 課題 案の 発見 方	その他の 問題点 ・課題		成 ホ ス ター 、 パン フレ ット 作	配 布 製 パン フレ ット 、 チ ラ シ	市 町 村 広 報 誌 活 用	把 握 調 査	講 演 会 、 セ ミ ナ ー 開 催	研 修 会 等 で の 情 報 提 供	住 民 向 け 教 室 等 の 講習	相 談 対 応 等	民 生 委 員 会 議 等 開 催	そ の 他	具 体 的 内 容	普 及 啓 発 は し て い ない	①普及啓発しない理由						
																							施 他 の 機 関 ・ 団 体 で 実	予 算 確 保 が 困 難	そ の 他	具 体 的 内 容			
	27	21	26	15	18	15	20	22		6	21	10	0	7	10	7	25	8	3	3	0	0	0	0	0				
盛岡市	○	○	○		○	○	○	○		○	○						○												
宮古市	○	○	○								○				○	○		○											
大船渡市	○	○	○	○	○	○	○	○			○							○											
花巻市	○		○					○	経済的虐待とする判断について困難さを感じている。親（高齢者）の年金に依存する親子世帯が多くなっていると感じる。そのようなケースでは、介護サービス費支払いを滞納させたり、必要な介護サービスを断るなどの問題を生んでいる。	○	○					○													
北上市	○	○	○	○	○	○	○	○	多くの問題を抱えている場合があり、解決には時間がかかる。 認知症による症状や、被害妄想の訴えなど、身体的虐待のように単純な判断ではすまない、虐待判断の難しいケースが増えている。		○			○			○												
久慈市	○	○	○	○	○		○	○		○					○		○												
遠野市	○		○		○	○	○	○	・市区町村内で担当する人員の確保・育成 ・時間外（夜間・休日等）や緊急時の対応 ・通報・相談等の受付窓口の設置や周知 ・老人福祉法による措置に必要な居室の確保 ・「早期発見・見守りネットワーク」「保健医療福祉サービス介入支援ネットワーク」「関係専門機関介入支援ネットワーク」の構築、および関係部署・機関（警察署等の外部機関を含む）との連携強化	○	○				○	○		○	○										
一関市	○	○	○	○	○	○	○	○										○		○	在宅介護支援センター定例会時に周知、市ホームページでの周知								
陸前高田市	○			○				○		○	○						○	○											
釜石市	○	○	○	○		○			認知症に対する対応方法を十分に理解していたとしても、実際に介護者自身が常にそれを実践していくことは難しいことである。		○							○		○	認知症家族会会報での普及啓発								
二戸市		○	○								○	○		○	○			○											
八幡平市	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○					○	○	○										
奥州市	○	○	○					○			○				○	○		○											
滝沢市	○		○		○		○											○											
雫石町	○		○		○		○	○	複合的な事例への対応や、虐待者支援など支援対象の拡大していることに対して、対応が上手く出来ていない。		○	○			○	○	○	○											
葛巻町	○		○	○		○	○	○										○											
岩手町	○	○	○					○										○											
紫波町	○	○	○	○	○	○	○	○	・虐待防止ではないが、虐待案件として認められた後の高齢者と養護者へのフォローについて →高齢者への支援は進めることができるが、養護者への支援方法や進め方に悩むことがあり、うまく支援に結び付けられないケースがある。	○	○																		
矢巾町	○	○	○	○					認知症高齢者が、年々増加傾向にあり地域における見守りはのほか、家族内において認知症について理解を深めることが必要であることから、本町では、矢巾町キャラバンメイト連絡会を立ち上げており、今後機会をとらえて認知症について正しく認識していただくための啓発活動が必要と考えている。										○										
西和賀町	○		○	○		○	○	○										○											
金ケ崎町	○	○	○	○	○	○	○	○	家族介護者（特に男性介護者）の、介護知識の不足、生活能力の不足が、介護ストレスに繋がり、虐待を招く原因にもなっている。また、嫁姑問題など、家族間の問題を、虐待問題として取り上げるべきものか判断が難しい。		○	○				○	○	○	○										
平泉町		○	○		○	○		○			○	○				○		○	○										
住田町					○		○		・「虐待」と名前を付けて対応していないケースもある。介護疲れや家族に対応のスキルがないため出てくる反応が怒鳴ったり、叩いたりの反応もあると捉えている。サービスを多く入れたり、ショートステイを利用してもらうなどしている。介護者の問題（知的障害や精神疾患がある）などに配慮している。・境界型人格障害と思われる介護者の対応は困難である。		○																		
大槌町	○	○		○	○			○			○	○					○	○											
山田町					○	○		○	・高齢の親と独身の子の世帯など、家族介護力の低い世帯への支援が課題である。 ・認知症の方や要介護者を介護する家族がSOSを出しやすい環境として、地域への認知症の正しい知識の普及や介護サービスを利用することへの偏見を解消していくことが課題である。										○										
岩泉町	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○				○		○											
田野畑村							○		関係者の理解等を得ながら調整する工夫。										○	住民が参集している機会に普及啓発をしている。									
普代村											○																		
軽米町	○	○	○				○	○		○		○			○			○											
野田村	○	○	○								○							○											
九戸村					○		○					○							○										
洋野町	○	○	○	○	○	○	○	○								○		○											
一戸町	○										○						○	○	○										

2 成年後見制度について																																		
(2)「成年後見制度利用支援事業」実施状況																																		
市町村名	H25年度		H26年度		①H25成年後見制度利用支援事業の具体的な内容										※H26成年後見制度利用支援事業見込み										②実施要綱		③実施しない理由			④要綱を策定しない理由	(3)市町村申立てをするうえでの問題点、課題			
	実施している	実施していない	実施している	実施していない	担当市町村申立て費用負担	助成年後見人等の報酬	報酬作成	説明会、相談会開催	その他	その他の内容	実績額	申立件数	申立費用	助成件数	助成額	担当市町村申立て費用負担	助成年後見人等の報酬	報酬作成	説明会、相談会開催	その他	その他の内容	予算額	申立見込件数	申立見込費用	助成見込件数	助成見込額	策定している	策定していない	案件がない			その他	その他の内容	
	31	2	31	2	22	15	3	2	6	6	979,905	11	265,905	3	554,000	24	23	4	1	3	3	13,511,743	32	2,755,743	22	5,327,000	30	3	2	0	0	1		
盛岡市	○		○		○						34,950	4	34,950	0	0	○	○						869,000	5	197,000	2	672,000	○						事前調査に時間を要している。
宮古市	○		○		○						129,950	2	129,950			○	○						644,400	3	284,400	3	360,000	○						親族より制度についての理解と同意を得ることが困難で時間を要する。
大船渡市	○		○		○	○					5,250	0	5,250	0	0	○	○						256,000				○						親族調査や同意等、1件に要する時間と手間が大きい（と予想される）。申立てには至らなかったが、親族調査だけで2～3ヶ月を要した事例がある。親族が多ければ多いほど、その分時間を要するようだ。	
花巻市	○		○		○	○			○	家庭裁判所書記官を招いた包括職員研修相談会	322,100	0	2,100	1	320,000	○	○						670,000	2	118,000	2	552,000	○						親族調査等に時間と手間がかかる。
北上市	○		○		○	○					0	0	0	0	0	○	○						1,054,000	1	15,000	1	240,000	○						親族調査や同意に時間がかかる。
久慈市	○		○		○						8,810	1	8,810	0	0		○						489,000			1	216,000	○						親族がいても関係が希薄なため市町村長申立てに至るケースがある。可能な限り親族に後見人となってもらいたいと考えるがどこまで介入していいものか判断に苦慮する。
遠野市	○		○		○		○		○	成年後見制度関係研修会開催	114,500	1	7,950	0	0	○	○	○		○	成年後見制度関係研修会開催	744,000	2	128,000	1	336,000	○						地域に人材が不足しており後見人候補者の選任に苦慮している。	
一関市	○		○								0	0	0	0	0			○				250,000	2				○						親族への申し立ての意思確認	
陸前高田市	○		○		○	○	○	○			0	0	0	0	0	○	○	○				441,000	1	105,000	1	336,000	○						経済的弱者への支援体制	
釜石市	○		○													○						512,000	1	512,000			○						手続きが煩雑で、時間を要すること。	
二戸市	○		○		○	○					0	0	0	0	0	○	○					138,800	1	54,800	1	84,000	○							
八幡平市	○		○				○	○										○	○				1,371,000					○						
奥州市	○		○		○	○					0	0	0	0	0	○	○					447,000	1	111,000	1	336,000	○						親族調査等に時間を要すること。	
滝沢市	○		○		○	○					242,400	1	8,400	2	234,000	○	○					567,000	2	135,000	2	432,000	○						親族調査や同意を得るのに時間を要する。	
雫石町	○		○		○	○					0	0	0	0	0							218,000					○						親族調査に多くの日数を要するとともに、どこまで厳密に親族調査を行ったうえで申立を決定すべきか、判断に迷う場合がある。	
葛巻町	○		○		○						0	0	0			○						100,000	0	0	0	0	○						親族調査や同意に時間がかかる。	
岩手町	○		○													○	○					339,000	1	115,000	1	224,000	○							
紫波町	○		○								0	0	0	0	0	○	○					450,493	1	114,493	1	336,000		○				関係課と協議している最中であるため。	・親族調査に時間を要し、親族へのアプローチ方法が課題 ・首長申立の対象となるか判断するのに時間を要し、スムーズな支援につなぎにくい	
矢巾町		○		○																								○	○				相続人や利害関係人調査、対応	
西和賀町	○		○								0	0	0	0	0							455,000					○						親族調査に時間を要すること、親族から理解を得るのがむずかしい。	
金ヶ崎町	○		○		○				○	随時窓口相談、制度についての研修会	0	0				○				○	随時窓口相談、制度についての研修会	119,000	1				○						親族へのアプローチ方法もだが、制度そのものを理解していただくことが困難。	
平泉町	○		○		○	○					0	0		0		○	○					250,000	1	100,000	0		○						親族調査や同意に大変時間を要する。親族が関わりを拒否したり、成年後見制度がなかなか理解されない。	
住田町	○		○		○	○			○	既存パンフレットの購入	5,250	0	5,250	0		○	○					283,050	1	115,050	1	168,000	○						子供がすべて非協力的、介護者が人格障害と思われ言うこととやることが違い、突然怒鳴り込むことなどがある。担当者の危険を伴う。	
大槌町	○		○		○						5,560	1	5,560	0	0	○	○					397,000	2	121,000	1	276,000	○						親族調査や同意に時間を要する。	
山田町	○		○		○	○					0	0		0		○	○					576,000	1	240,000	1	336,000	○							
岩泉町	○		○		○	○			○	広報等による周知、啓発	7,450	0	0	0	0	○	○					466,000	1	110,000	1	336,000	○						親族調査や同意に時間を要している。親族へのアプローチが難しい。	
田野畑村	○		○		○	○					0	0	0	0	0	○	○					336,000	0		0		○						専門的に対応できる職員がいないこと	
普代村		○		○																								○	○				人員の不足・担当者の知識不足。親族へのアプローチ方法等詳細な部分の事例を聞く機会がない。	
軽米町	○		○						○	要綱作成、予算化はしているが案件がなかった。		0		0		○	○					258,000					○						要綱は作成しているが案件がないため、具体的な手順について不安がある。	
野田村	○		○														○			○	消耗品費	142,000					○							
九戸村	○		○								46,000	0		0								193,000	1	109,000	1	87,000	○							
洋野町	○		○		○	○					57,685	1	57,685	0	0	○	○					405,000					○						親族調査に時間を要する、協力的でない親族へのアプローチの方法	
一戸町	○		○		○	○					0	0		0		○	○					71,000	1	71,000	0	0	○							

2 成年後見制度について						3 市民後見人の養成について																	
市町村名	(4)成年後見制度を推進するうえでの問題点、課題	(5)成年後見制度を推進するうえでの県や専門職等の支援の必要性				(1)市民後見人養成実施状況														(2)市民後見人を養成するうえでの問題点、課題			
		必要 として いる	必要 として いない		必要 として いる 支援の 内容	実施 してい る	今 年 度 実 施 予 定	来 年 度 実 施 予 定	実 施 予 定 な し	案 養 成 に 関 する ノ ウ ハ ウ の 構	基 本 カ リ キュ ラム の 作 成	予 算 の 確 保	国 ・ 県 の 支 援 ・ 助 言	構 養 成 後 の バック ア ップ 体 制	住 民 へ の 周 知 と 理 解	ス キ ル ・ マン パ ワー の 不 足	そ の 他	具 体 的 内 容					
		26	7			1	1	2	29	22	19	20	17	25	21	22	6	6					
盛岡市	一般的には、市民に制度が浸透しているとはいえないことから、更なる周知啓発に努める必要がある。	○			成年後見人の適正な活動のサポート。		○			○	○	○				○							
宮古市	制度利用者であっても、緊急時の医療判断で親族の関わりがなければ施設入所は難しく、制度の有効性が関係者に伝わりにくい。	○			成年後見制度利用に関するケースのスーパーバイズ。（専門職からのアドバイス）				○	○		○		○	○	○							
大船渡市	成年後見人等のなり手が不足している。	○			手引きやQ&A等のほか、申立て事務を進める中で岩手県高齢者総合支援センターの権利擁護相談を利用したことがあるが、今後もそのような相談機関の支援を受けていきたい。				○	○	○	○		○	○	○							
花巻市	後見人が決定するまでの間の支援制度が求められる。	○			制度研修会や勉強会。県主催とする県民への啓発イベントなど				○	○	○	○	○	○	○	○	○						
北上市	手続きに時間がかかるため、緊急を要する場合には手続きが間に合わないことも考えられる。 後見人に与えられる権限に限りがあるため、医療の同意や保証人、死亡後の身元引受（遺体の引き取り）など、解決できない問題が残ってしまう。	○			家族による経済的虐待が疑われる場合や、未相続財産等があり親族間のトラブルがある場合など、相談支援を必要とする場合がある。				○	○	○	○		○									
久慈市	住民への周知不足。制度が複雑なため住民の理解を得られにくい。ニーズの掘り起こしにつながった場合の後見人の不足。	○			困難ケース対応についての支援・助言。				○	○	○		○	○	○	○							
遠野市	後見人の人材確保のための手段として、市民後見や法人後見の養成・実務研修等の支援体制整備が課題。	○			市民後見人を養成するための研修会等。				○	○	○		○	○		○							
一関市	成年後見人等が決定するまでの事務の繁雑	○			市長申立の判断				○	○	○	○		○			○	養成する場合の委託先の選定方法					
陸前高田市	費用負担が重く、年金受給者等収入の少ない住民には厳しいと考えます。	○			ケースによっては弁護士、司法書士等のより専門性の高い知識や見解が必要になると考えます。				○	○	○	○	○	○									
釜石市	・成年後見制度に関する誤解があり、業務外のことで求められ、後見人の負担が大きい。（後見人は保証人や身元引受、医療行為に関する同意、死後の手続き等対応に困ることが多い） ・専門職の後見人が少ない。	○			申し立て手続きを進めていくうえでの助言。後見人をフォローする体制の構築				○	○	○	○	○	○	○	○							
二戸市	住民への周知が不足しており、制度の正しい理解や手続きの方法など周知が課題。	○							○				○		○	○							
八幡平市	・専門職後見の受け手の確保。 ・報酬助成の予算確保。		○						○	○	○	○	○	○	○	○							
奥州市	申立手続きに時間や手間がかかる。申立て支援ができる機関が限られている。	○			第三者後見受任団体（県弁護士会、司法書士会及び社会福祉士会等）と市担当者との交流がない。各団体と第三者後見人の協議ができる関係作りが必要と思われる。			○		○	○	○	○	○	○	○							
滝沢市	相談を受ける側のレベルアップが必要。	○			相談事例への対応のアドバイスが欲しい。				○	○	○	○	○	○	○	○	○	必要がどの程度あるか把握していない					
栗石町	内容が難しいというイメージがあり、制度利用のメリットについて十分に理解されない。 申し立て手続きの煩雑さ。		○						○	○	○			○		○							
葛巻町	後見人の人材不足。	○			市町村長申し立てのフローチャート等あれば活用したい。				○							○	○						
岩手町	住民へ制度を理解してもらうことが課題。周知不足。		○						○	○					○	○	○						
紫波町	（3）と関連して、被後見人に親族がいるのにも関わらず申立を拒むケースがあり、制度を進めるのに時間を要すること	○			・困難事例時の対応方法の相談（早急な対応） ・事例別の対応フロー等があれば支援や対応がスムーズに行うことができる				○	○	○	○	○	○	○	○	○						
矢巾町	制度の正しい理解と手続き方法の誘致、制度を利用される方への支援方法		○						○	○		○		○	○								
西和賀町	制度への理解が不十分でメリットがわからない。手続きが面倒でお金がかかる。本人に代わって金銭管理を行っている人がいて、特段困ったことが起きていないケースが多い。	○			個別ケースで制度利用が必要な方に対し、県や専門職の意見、助言により、利用につなげることができるのではないかと	○						○		○	○								
金ケ崎町	制度の周知が課題、また、手続きが煩雑で時間を要する	○			法律関係の専門職が不在。制度を熟知している人材が少ない。制度の活用が必要なケースを見極めることが難しいため、包括職員の相談窓口となってくれる専門職が必要。					○	○	○	○	○	○	○	○	制度そのものが周知されていない現状ではさらに市民後見を養成することの必要性すら理解されないことが懸念される					
平泉町	住民への周知は行っているが、実際、必要にせまられないと理解が難しい。	○			制度を広く理解してもらうということにつきるとは思うので、制度の周知と気軽に相談できる体制であれば良い。				○	○		○		○		○							
住田町	岩手県は、県社協の「日常生活自立支援事業」が普及しているので、成年後見制度まで利用しなくても用が済んでいる人が多い。あづけたいと意思表示できるうちに利用している人がほとんど。	○			カリキュラムの作成。養成講座を他市町村と合同で開催しなければ、受講者となりうる人材も少ない現状。				○		○			○	○		○	需要がないので、養成講座を開く必要性を感じていない。					
大槌町	住民や関係機関への周知が不足している。補助、保佐制度の活用を推進していくことも必要であるが、制度利用につながっていない。	○			本人申立て、親族申立ての場合、手続きが複雑との理由で時間を要する事例が多く、専門職等の支援が必要であるが町の担当だけでは限界がある。また、成年後見人受託者も沿岸は少なく、法人後見等の機関もない。成年後見センター等支援機関での対応が望まれる。しかし、1市町村ではセンターの立上げや維持は困難であるため、近隣市町村の状況を踏まえ、広域での取組みも視野に入れて市町村支援をして欲しい。				○				○		○	○							
山田町	手続きが多く、時間もかかるため利用にまで至らない。	○			財産や相続等に関する法的知識に不安があるため、個別の事案について助言をいただきたい。				○														
岩泉町	制度の正しい理解や手続き方法等の周知が課題である。	○			専門的な立場（弁護士等）から支援をしていただき、手続きや支援方針の相談対応をしたい。				○	○	○	○	○	○	○	○							
田野畑村	専門的に対応できる職員がいないこと	○			専門的なノウハウの指導等				○								○	圏域と本村の状況を鑑み検討課題。					
普代村		○			関係者への説明会等を開催したいが講師の依頼場所等もわからない。案件により本当に後見人が必要なケースなのかどうなのかの判断も悩む部分がある。相談できる弁護士・司法書士等が常駐している関係機関があればいいと思う。				○				○	○		○							
軽米町		○			成年後見制度の利用が適切なのかやどのように手続きしたら良いか等、判断に迷うことがあり、専門職の支援が必要。二戸地域には権利擁護支援センターができたので、必要に応じて相談できる。				○	○	○	○	○	○	○	○	○	市民後見人を必要とする方がどれくらいいるのか、地域のニーズを把握する必要がある。					
野田村			○						○														
九戸村	申し立て手続きが煩雑で、且つ、制度に対する本人や家族の理解を得るのが難しい。 利益を侵害している（されている）という認識が無い。		○						○			○			○	○							
洋野町	住民への周知が不足	○			個別ケースへの助言、岩手県における首長申し立てマニュアルの作成				○	○			○	○	○	○							
一戸町	成年後見制度の手続きを積極的に進めるうえで、後見人の担い手不足の課題がある。二戸圏域では弁護士、司法書士の人材が少ない。権利擁護支援センターが設立され、今後法人後見の受任を増やすことも考えているが、マンパワー不足の状態。市民後見人養成が急務である。	○			成年後見人の負担増と後見人は求められた支援に対しどこまで対応していくのか非常に判断が難しい。後見人のバックアップ体制を整える意味でも支援が必要。			○			○	○	○	○									

市町村名	(3) 徘徊SOSネットワークの構築																		②構築に関する問題点・課題
	構築している	構築予定	予定時期	構築していない	①徘徊SOSネットワーク構成メンバー														
					市町村	地域包括支援センター	医療機関	警察	消防	介護サービス事業所	社会福祉協議会	民生委員	小・中学校	運輸会社（バス・タクシー）	警備会社	その他	その他の内容		
	8	1	1	23	6	6	3	7	4	3	2	2	1	2	0	5	7		
盛岡市				○															
宮古市	○				○		○	○	○					○			バス・無線ワラフ、石田間協和会宮古支部、宮古郵便宮古支店、宮古福祉販売、NPO協会宮古支部	事務局は宮古警察署。警察から市に連絡があった場合、市から市内の介護・福祉事業所に連絡し、協力を求めている。今後、事前登録について、検討が必要。	
大船渡市	○					○		○							○		保健所	・徘徊SOSネットワークに類するものとして「気仙地区安心ネットワークシステム」が平成19年から開始された。しかし、システムが十分に活用されておらず、今後、郵便局や金融機関、コンビニ等協力団体の範囲、見守り体制の範囲等、効果的な運用の検討が必要である。 ・徘徊者の捜索に、徘徊者の捜索に、地域住民や消防団等が協力しているが、それぞれの負担も大きく、これを軽減するような考え方も必要である。	
花巻市				○													機能しづらくならないようなネットワークの在り方を検討中		
北上市				○														構築に向けた取り組みが出来ていない。	
久慈市				○														マンパワーの不足により取り組めていないが検討すべきと考える	
遠野市	○				○	○		○	○		○	○							
一関市				○														医療機関をはじめ、参集範囲をどこまでにするのか？	
陸前高田市	○				○	○		○						○	○		県		
釜石市	○				○	○	○	○	○	○			○	○		○	コンビニ、ガソリンスタンド、商店		
二戸市				○														高齢者の見守り活動は行ってきたが、徘徊SOSネットワークの構築を検討したい。	
八幡平市				○														・可能な範囲でネットワークを構築し、広げていくことを予定している。	
奥州市		○	H26/12																
滝沢市				○														バス、タクシー会社等との連携は必要と思うが、顔の見える関係までに至っていない。	
雫石町	○																		
葛巻町				○															
岩手町				○														警察署で同様の事業をおこなっているので、必要に応じて連携している。	
紫波町	○				○	○	○	○	○	○	○	○			○		保健師OB		
矢巾町				○														現時点の協力体制・見守り体制で実施できている。	
西和賀町				○														地区協議会、区長、民生委員、消防等、既存の組織がある中で、共通理解を得ることがむずかしい。	
金ケ崎町				○														個人情報保護の観点からどこまで情報を共有可能か、又は情報を提供したくない住民への対応。	
平泉町				○															
住田町	○				○	○		○		○					○		・市町村独自ではなく気仙広域		
大槌町				○														東日本大震災以前はSOSネットワークについて警察署を中心に組み組みしていたが、震災後は機能していない。警察署への働きかけを続けている。	
山田町				○															
岩泉町				○														個人情報の問題もあり、ネットワーク構築には検討を要する。	
田野畑村																		関係機関との連携等	
普代村				○														他市町村の状況を事例として教えてほしい	
軽米町				○														地域のつながりがあり、日頃からさりげない見守りが行われている場合も多く、徘徊高齢者に関する相談はこれまであまりなかった。今年度は認知症に関する相談が増加傾向のため、他市町村の取組を参考にしながら、ネットワーク構築について検討していきたい。	
野田村				○															
九戸村				○															
洋野町				○														奥州市の取り組みなどを参考にして、洋野町でもネットワーク構築を検討していきたいと思う。	
一戸町				○														徘徊SOSネットワークの先進的な取組み市町村より情報収集している段階。今後、一戸町においてどのような取り組みをしていくか検討していく。認知症に特化した見守りネットワーク構築が必要なのか、既存のネットワークを活用していくか今後判断したい。	